

第8回稲門交流パーティーin流山 開催のお知らせ

10月5日に開催する稲門交流パーティーのご案内(同封)をお届けします。昨年と同じフードホールおおたかの森を会場に、会員に加え市内の稲門の方どなたでも大歓迎のオープンでカジュアルなパーティーです。酷暑の夏がやっと過ぎ、さわやかな秋本番の季節となっています。大学のキャンパスでは、早稲田祭2024の開幕が秒読みです。流山でも、稲門同士で飲んで、食べて、語り合っ、わいわいがやがやと賑やかなひと時にしたいと思っています。途中、「ハーラウフラオ アロハ ロコマイカイ」の皆さんの素敵なフラダンスで、ちょっとハワイにいる気分も楽しんでいただけます。ポロシャツ、ジーパンなど普段着でお気軽にお出かけください。心からお待ちしています!



フードホールおおたかの森

企画委員長 渡辺省三 72年 法卒

千葉県稲門祭参加報告

毎年11月に開かれる県稲門祭ですが、今年は田中愛治総長のご都合で6月30日となり、流山からは20名が参加、全体では381名でした。



高橋実行委員長挨拶

第一部の講演は、前ヤフー(株)代表取締役の小澤隆生さん。楽天の三木谷さん、ソフトバンク孫さんの直属の部下として働いていた経歴があり、大変ユニークで楽しいお話を聴くことができました。第二部の総長懇談会では田中総長が大学の現状報告と早稲田をより高いステージに押し上げる為の今後の対応について熱弁されました。第三部の懇親会はジャズバンドの生演奏で始まりました。今年の実行委員長は私が務め、冒頭ご挨拶をさせていただきました。乾杯の音頭は私の現役時代の教授、大塚宗春名誉教授にお願いしました。参加者は他の稲門会支部の方々との親睦を深め、最後に全員で校歌斉唱、お開きとなりました。



流山稲門会から20名参加

会長 高橋孝志 78年 商卒

新幹事長就任ご挨拶

石井孝さんの後を受け、幹事長に就任致しました須賀と申します。1980年法学部卒で、若輩者(リタイヤしています!)です。出生から大学卒業まで、流山で育ちました。会員の皆さんの中でも珍しいかも知れません。



旅行が好きで、転勤・出張等も多かったため、47都道府県すべてで、最低1か所以上の町を歩いています。元気が続くうちは、旅行を続けたいと思っています。

入ってよかったと思える流山稲門会であり続けるよう、高橋会長をはじめ役員の方々と一緒に運営してまいります。会員の皆さんの活発な活動とご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

幹事長 須賀勝己 80年 法卒

新任役員就任ご挨拶

18歳で上京するまで、高原鉄道小海線が通る信州佐久地方で育ちました。国際学生友好会、国際マーケティング等クラブ、ゼミ活動等で培った仲間達との交流は今も続きます。誠心誠意という言葉が好きでした。卒業は73年、4年前が例の東大紛争で東大入試中止の為、留年組を除き東大卒業生不在の珍しい年でした。商事会社で海運/造船関係部署配属となり、バイキングの末裔達のNorwayには2回、大阪、四国への転勤、10回以上の引越しを経て、35年前流山市に居を構え、ゴルフが縁で15年前流山稲門会に入会させていただきました。先輩諸氏の地道な社会貢献活動を拝見しながら、少しでも皆様のお役に立てたらと願っております。



西澤俊克 73年 商卒

この度幹事を拝命しました。宜しくお願い致します。1986年に第一文学部英文学科を卒業。バブル直前の頃で、サークル活動(英語会でした)に熱中したり、友達とあちこち遊び回ったりの学生時代でした。勉強はしたような、しないような。

その後、電気機器メーカーに23年ほど勤務。マーケティングや広報に携わり、アメリカ駐在も経験しました。結婚を機に流山に移り20余年、今は夫の設立した零細ベンチャーで働きながら、子ども食堂等のボランティア、ホームページ作成請負、趣味のハンドメイド等、慌ただしくも充実した毎日です。今後、稲門会の更なる発展のため、微力ながら尽力してまいります。

坂梨圭子 86年 文卒



流山市からの表彰状「ふるさとづくり功労者」

1区牛島康行さんが「ふるさとづくり功労者」として、今年3月22日に流山市から表彰されました。広報ながれやまにも掲載されています。牛島さんからコメントを頂きました。

「2001年から20年以上、コミュニティスポーツリーダーとして、地域の方々に健康ジョギング指導等をしてきた活動が評価され、仲間のリーダーたちと喜びを分かち合いました。近所の公園で毎日曜日、午前7時から1時間半、走る仲間とたつぷり汗をかき、よもやま話に花を咲かせ、時にはハイキングやビール工場見学に出かけたりして、楽しく続けていくうちに、52歳の時(2001年)、流山市から北部地区のコミュニティスポーツリーダーを委嘱され、2018年には、「千葉県生涯スポーツ公認指導員」にもなりました。今では、稲門会の活動と共に、日曜朝のジョギング講習で指導することが、健康維持・向上と共に、私の生き甲斐となっています。

私のモットーは、「継続は力なり」で、子供たちにも言い続けてきました。表彰を受けた翌日、娘や息子から、努力してきたことに対するねぎらいや表彰を祝うメールが届きましたが、その中に「本当に継続は力なのですね」の一文があり、とても頼もしく嬉しく思った次第です。

健康ジョギング講習会は流山市内5か所で運営されており、私の担当は北部地区で東深井地区公園で開催しています。他地域は、中部地区:八木北小学校、総合運動公園地区:SL広場、南部地区:南流山小学校、東部地区:東小学校で開催されており、開催日は毎日曜日、開始時間は7:00または7:30です。健康維持・増進にとっても役に立ち、楽しい催しですので、会員の皆様方も是非お気軽に参加してみてください。

牛島康行 73年 法卒



登山同好会 北岳を憶う 60回記念登山



キタダケソウ

北岳は標高3193m、富士山に次ぐ日本第二位の高峰で赤石山脈(南アルプス)の北部に在り、富士山と30km程の距離で対峙する位置に在ります。北岳は岩の殿堂『パトレス』の厳しい顔と、多種の高山植物が咲き、心和む顔をもつ山でもあります。高山植物の中には氷河期時代の遺存植物が多く、キタダケソウのように「北岳」を冠した北岳固有種5種の植物が生育しています。氷河期の遺存蝶クモマベニヒカゲ、クモマツマキチョウ等も生息している自然の宝庫でもあります。



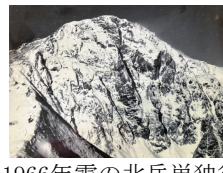
1960年初登頂

また北岳は毎年4mmほど隆起しています。これは約100万年前に伊豆半島が本州に衝突、現在もプレートの動きで日本列島を押し続けていることによります。北岳の標高を2004年10月に3192mから3193mに国土地理院が変更しました。単純計算では約200年後に3194mに、100万年後には6000m超の山ということになります。



北岳登頂の岳友と

私は昭和35年(1960年)5月22日、早稲田の級友故犬塚君(写真左端)と残雪多い北岳山頂に立ちました。北岳との初めての出会いです。以来59回、ほぼ毎年登った計算になりますが、高度成長期の真っ只中、休暇が無い空白期もありました。北岳の登山口まで遠く、一日近くを要した時代もありました。新宿駅23時45分



1966年雪の北岳単独行

の各駅停車で甲府駅に3時前に着き、土間で壁も無い屋根と柱だけの山梨交通バス待合所で芦安行のバスを待ちました。芦安の宿「岩園館」近くで広河原林道建設のトラックの荷台に収まり、飯場がある深沢まで運んでもらいました。ここから200m下の野呂川まで下り、太い針金と板敷の仮設吊り橋、長さが20m弱、川面から高さ4~5mで歩を進める都度大揺れの恐ろしい橋を渡るのです。渡り切った所が北岳への池山吊り尾根の取りつきで、超急斜面を重いキスリングを背にほぼ直登が続くこと約5時間で池山避難小屋に着きます。水場へは片道20分かかりました。翌日北岳まで7時間、復路が5時間、さらに深沢まで5時間、芦安まで3時間のとてつもない時間を要し、順調にいつても2泊3日はかかりました。深沢の飯場に泊まったこともあります。北岳登山はとも厳しいですが、他の山には無い強く惹かれるものがあつたのだろうと今思います。



北岳から富士山を望む

1968年8月に林道広河原線で路線バスが運行され1泊2日での北岳登山ができ、自分の車で広河原まで行くことで日帰りの北岳登山が可能になりました。2002年10月18日私が車で通過した直後に林道が大崩落したこともあり、自然環境保全のため2004年林道広河原線が、翌年には広河原への県道南アルプス公園線がマイカー規制となりました。

数多の北岳登山の中で忘れられないことは、1960年の初登頂、1966年の雪の北岳単独行、2010年8月の大樺沢右侯を遡行し3000m稜線に出たことなどです。

北岳初登山から64年後の今年7月、流山稲門会登山同好会の仲間4人で北岳第60回記念登頂とキタダケソウを観に入山しましたが、豪雨と強風の悪天候などで残念ながら仕切り直しとなりました。この登山について、ホームページの「登山同好会 北岳登頂60回目記念登山」に詳述しました。是非ご覧ください。



筆者近影

北原孝浩 64年 法卒

同好会のイベントに参加してみませんか! 各同好会活発に活動しています

散策会	春秋天候のよい季節に散策しております。散策実施の都度、事前ご案内を当会ホームページに掲載いたします。過去の散策記はホームページに掲載しておりますのでご参考までにご覧ください。
カラオケ同好会	カラオケスナックで飲みながら昭和の懐かしい歌を楽しむ会です。毎月開催しています。開催日は皆の都合を聞き、その都度決めています。
スポーツ観戦同好会	早稲田の三大スポーツの野球、ラグビー、駅伝の応援、観戦を中心に活動しています。野球の早慶戦、ラグビーの早明戦、駅伝はパブリックビューイングを計画しています。多くの早稲田スポーツファンの入会をお待ちしております。
俳句の会	発足以来13年が経過。月1回の句会を重ねてきました。大方の会員は、ほぼ無経験からの出発でした。各自鋭意努力、自分の俳句を確立しつつあると感じます。どうですか、共に5・7・5に挑んでみませんか。
株式同好会	証券セミナーを聴講、最新の経済情勢や株価動向に関する知識を得、その後気楽に情報交換と懇親会。会員の親睦と見識を深めています。初心者の方大歓迎です。
プラチナ倶楽部	プラチナ世代として何時までも元気で楽しくランチを味わう会です。コロナ禍後に、活動再開できました。新規参加者も増え、お互いの関心事を語り合っています。本年も新規レストランを開拓し、楽しい会を目指して企画します。是非ご参加ください。
登山同好会	春・夏・秋・忘年(12月初旬)と季節ごとに年4回の例会をしています。無理のない安全第一な登山を心掛けています。大自然の中を歩くのは心と身体をリフレッシュし健康寿命を延ばします! お気軽に、ご参加ください。
湯楽会	近場での日帰り入浴と懇親会に加え宿泊を伴う活動を再開しました。4月に「古閑裕和と温泉を巡る旅」を福島で実施しました。電車で行ける温泉入湯を挟み、秋に「紅葉と温泉を楽しむ旅」を計画中です。
ゴルフ同好会	年4回のコンペを開催。ラウンド後のパーティーはいつも笑いで盛り上がっています。男性、女性、年齢、ゴルフの腕前も関係なし。新規加入大歓迎です。
若手の会	千葉の西北、流山の森に、集まり散じて仰ぐは同じき美味しい乾杯。夏のBBQ、年末の忘年会など、ゆるゆると集まってやりますので、地元でお知り合いを作りたい方、ちょっと興味があるといった方も、是非お気軽にご連絡下さい。
囲碁同好会(休会中)	囲碁は老若男女、国籍を問わず、広く楽しまれている知的ゲームです。同好会は近年、故障者が増え、やむなく休眠している状態ですが、機会を捉え、再開したいと考えています。
駅シネマ同好会(休会中)	映画を鑑賞し、談笑します。世話人を募集しています。